

★市長だより★ 43



新型コロナウイルス感染症の対応が長期化する中、市民の皆様には、日々感染対策に大変なご協力をいただいております。とに改めて感謝申し上げます。

道内での再拡大防止のため、2月15日までとされる北海道の「集中対策期間」と連帯し、北海道スタイルの実践など、引き続き感染リスクの回避と、一人ひとりが正しい情報のもと、心ない差別や偏見を持つことなく、思いやりをもった行動と、また、人が移動する春の転出入時期の対応次第では道内でも感染者が急増する恐れも少なくないとの警鐘が専門家から発せられてもおり、油断せず対策を徹底していくことが求められております。

今後、国の指示のもとに実施される「コロナワクチン接種」

を迅速に進めるため、市では、健康推進課内に、新たに、「新型コロナウイルス感染症対策係」を2月1日付で新設し、接種方法の検討や接種会場の選定、ワクチンに関する情報収集と提供、地元医師会との連絡調整にあたるなど、接種体制の整備とともに、国からのワクチン情報についても分かりやすく市民皆様にお伝えできるように取り組んでまいります。

先月、市の高校問題協議会が開催され、芦別高校の今後のあり方について協議を行い、入学者が減少する見通しの中で、普通科2学級を維持するため、学科転換は行わず、支援策の継続や情報発信の強化、同校生徒と小・中学生の交流、同校と小・中学校の教員交流など同校の魅力づくりにより地域一体となって取り

組むことが確認されました。

高校の魅力化は、地方創生の柱でもあり、将来にわたり、地域を担う人材育成の拠点でもある芦別高校に、生徒がより行きたい、保護者の皆様が行かせたい、一層そう思っていただけのように、市民皆様のご支援、ご協力のもと、市としてもできる限りの支援策等を講じながら、魅力ある高校づくりにも今後とも積極



1月22日、福祉センターふれあいホールにて交通安全対策本部会議を開催し、交通事故防止のための本年の交通安全運動等について協議いたしました。

的に係わりをもつてまいりたいと考えております。

さて、私は、平成29年2月に市長就任以来、「信頼と安定した市政の確立」をめざし、「市民皆様の福祉(幸福)増進」と「市政の健全化」、「地域経済の活性化」を政策の柱に、ふるさと芦別の持続的発展と市民の皆様誰もが安心して暮らしやすく、住み続けたいと思っていた、ただ芦別づくりのため全力で市政運営に努めてまいりました。

公約として掲げさせていただいた重点施策や推進施策については、概ね実施、または推進済みですが、行財政改革など一部については道半ばなものもあるところです。

この4年間、市民皆様のご支援ご協力で衷心より感謝申し上げます、今任期のお礼に代えさせていただきます。

芦別市長 荻原 貢